

11月 全校朝礼

おはようございます。

立冬が過ぎ、朝晩本当に寒くなりました。インフルエンザが猛威を振るっているようです。来週は期末考査です。体調管理に気を付けてください。

さて、みなさんはこのような言葉「お天道様が見ているよ」と大人の人に言われたことはありませんか？校長先生は、小さい頃、親やおばあちゃんから、言われました。お天道様とは太陽や神様を指します。

この言葉は、「誰も見ていないようでも、太陽や神様はいつも空からあなたの行動を見ている。だから、人の道に反することはしてはいけない」という意味であり、悪いことをしないように、自分の心にブレーキをかけてほしいという期待が込められています。

人には、誰も見ていないところなら、多少悪いことをしてもいいやとってしまう弱さがあります。さらには、「まあ、このくらいいいや」という思いは、次第に誰かが見ても平気になる集団になると当たり前のように行い、そんな風に行動がエスカレートしてしまうものです。

みんながそんな身勝手な行動ばかりしていたらどうですか？とても迷惑だと思いませんか？いつか思いもよらない被害につながると思いませんか？

今、毎日のように「強盗殺人、強盗未遂」という怖い事件や「闇バイト」のニュースを聞きます。

荷物を運ぶだけで10万円のアルバイト料がもらえるなんて、どこかでよくない仕事だとわかっていても、心のブレーキがかからなくなってしまうのです。セーフティ教室で「絶対、個人情報やネットを送ったりしてはいけない」と講師の先生が教えてくださっているのに、「これは大丈夫」とブレーキが外れてしまった結果、犯罪者になってしまうのだと思います。

中学生になれば、何が悪いのか、大抵のことは正しい判断がつくと思います。それなのに、できないのはそのときの欲求に負けて、自分本位な判断をしているからなのではないでしょうか？誰もあなた自身の行動をコントロールしてくれる人はいません。自分で「正しい行動に向けていく」しかないのです。自分の心のブレーキとして、「お天道様が見ている」を常に心に留め置き、行動を抑止してほしいと思います。